速成床土の作り方

速成床土とは、原土と完熟堆肥、調節資材、肥料などを混合して短期間でつくる。これに対し熟成床土とは、原土と稲わらなどの有機物、肥料などを混合して、使用する１年以上前からつくる床土である。ここでは速成床土の作り方を紹介する。

【原土（消毒）＋有機物⇒肥料を加え混合】

①材料：

ア．原土・・・畑土、火山灰土

※蒸気消毒やクロルピクリン錠剤（床土を 30cm の高さに積み 30×30cm 毎に１穴当り１錠処理する。）などで予め原土を消毒する。ガス抜き等十分期間をとって行なう。

イ．有機物・・完熟堆肥、腐葉土、ピートモス、踏込み材料

ウ．肥料・・・硫安、過石、硫加、苦土石灰

㎡当たり成分量：窒素１５０～２００ｇ、りん酸５００ｇ、
加里１５０～２００ｇ、苦土石灰

☆㎡当たり施用（例）

肥　料　名	施用量(kg)	成分量(ｇ)
硫安(21-0-0)	0.15	窒素　271.5
過燐酸石灰(0-17-0)	2.5	りん酸　625
苦土石灰	1.0	加里　220
マイクロロングトータル(12-10-11)	2.0	

※育苗期間によって７０～１００日タイプの緩効性肥料（マイクロロング等）を用いる場合は窒素量を３００ｇ／㎡程度増量しても良い。

※小さいポットを使用する場合は肥料切れを起こさないよう葉面散布などを併用する。

②混合割合（容量比目安）

トマト・・・・・・・原土１：有機物１
ナス、ピーマン・・・原土２：有機物１
キュウリ・・・・・・原土１：有機物２

③苗１株当たりの床土必要量

キュウリ、西瓜、メロン・・・０．８～１．０ℓ
トマト・・・１．０～１．５ℓ
ナス、ピーマン・・・１．５～２．０ℓ